



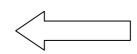
大垣市民病院

I. 基本事項について

カテーテルのメーカー名は	、_サイズはI	Fr、
次回交換日は年月日_	時頃です。	
蓄尿袋のメーカー名は	商品名はで	す。

- * カテーテルの交換は、地域のかかりつけ医または当院、訪問看護などで受けてください。
- * 当院で交換される場合は、地域のかかりつけ医から「大垣市民病院よろず相談センター地域連携部門」を通じて、受診の予約を取って頂けます。







地域連携システムによる医療交換の受診予約

Ⅱ. 必要物品

- 1. カテーテルチップ、チップを入れるケース、消毒綿、消毒綿を入れるケース
- 2. 尿を捨てるための容器(ペットボトルやバケツ等)
 - *カテーテルチップを使用している方は、排尿時に尿量測定を行えるよう、尿器や代用となる目盛りのついた容器を使用するとよいでしょう。
- 3. 蓄尿袋のカバー(手製の布袋やビニールの袋など)

Ⅲ. 手技と注意すること

1. 尿の管理について

- ①毎日 決まった時間に尿を捨てましょう。 尿量が多いときは捨てる回数を増やしましょう。
- ②尿を捨てた後は、排液口を清潔なトイレットペーパーやティシュで拭いてください。
- ③できるだけ、尿量・尿の性状(色・臭い・汚れ等気付いたこと)を観察し、かかり つけ医や訪問看護師に経過を伝えることができるよう、ノートに記録しましょ う。
- ④血尿が見られる時は、尿の色、血の塊があるか、尿の出方はいつもと比べて どうか等を観察しましょう。
- ⑤カテーテルを引っ張るなどの刺激をすると、血尿の原因になりますので、注意 しましょう。

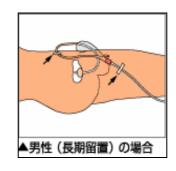
2. 水分摂取について

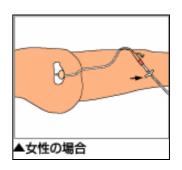
①医師から水分を控えるように指示されていない限り、十分な水分摂取に心がけましょう。水分補給が不足すると尿量が減り、尿の混濁やカテーテルの閉塞などを起こしやすくなりますので、注意しましょう。

3. 動く時の注意事項

- ①患者さんの移動時やベットの高さを調節する時などは、カテーテルや蓄尿袋 チューブのねじれ、折れ曲がり、引っ張りが起こり易いので気をつけましょう。
- ②カテーテルの固定はゆとりをもってテープで止め、抜けたり折れ曲がったりしないようにしましょう。





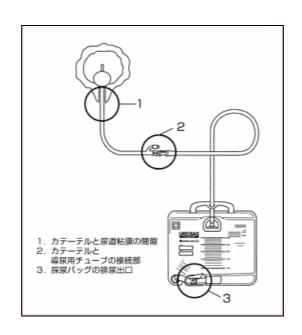


4. カテーテルと蓄尿袋をつなぐ時の注意事項

- ①まず、手を洗います。
- ②カテーテルと蓄尿袋をつなぐ時は、カテーテル側を折り曲げ、尿があふれて 漏れないようにしましょう。
- ③接続部は接続する前に消毒綿でふきましょう。
- ④入浴時はカテーテルを蓄尿袋からはずし、カテーテルの先をチップで止めましょう。
- ⑤カテーテルの先につけるキャップ(栓)の保管は、フタ付きの小さなプラスチックのケースなどを活用し、消毒綿で拭いて清潔に取り扱ってください。

5. 感染について

①細菌感染は、カテーテル挿入部、蓄尿袋との接続部、蓄尿袋の排液口部で起こりやすいです。感染を防ぐため、陰部や肛門はできるだけ洗って清潔にしましょう。



- ②蓄尿袋は常に腰より低い位置に置き、尿の逆流を防ぎましょう。また、蓄尿袋が床に直接つかないように固定しましょう。
- ③蓄尿袋を逆さにしたり、横に置いたりすると漏れや逆流を起こしかねませんの で、気をつけましょう。
- ④尿を捨てるときは、蓄尿袋の排液口が容器に触らないようにしましょう。
- 6. こんな時はかかりつけ医か、訪問看護師へ連絡を
 - (1)尿が流れてこない時、血尿が出る時、尿量が極端に少ない時
 - ②腹部に痛みや違和感がある時
 - ③尿漏れがあった時
 - ④カテーテルが抜けてしまった時